

印刷

整理番号 D03001942A
発送番号 743602
発送日 平成21年11月10日

拒絶理由通知書

特許出願の番号	特願2007-227252
起案日	平成21年11月4日
特許庁審査官	竹中 辰利 9197 5C00
特許出願人代理人	井上 学 様
適用条文	第29条第2項、第36条

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものです。これについて意見がありましたら、この通知書の発送の日から60日以内に意見書を提出してください。

理 由

A. この出願は、特許請求の範囲の記載が下記の点で、特許法第36条第6項第2号に規定する要件を満たしていない。

記

【請求項12】

備考

前記第12受信装置からの映像信号の送信が停止すると、前記第2の受信装置において記録した映像信号を再生するにおいて、第12受信装置は誤記である。

B. この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前日本国内又は外国において頒布された下記の刊行物に記載された発明又は電気通信回線を通じて公衆に利用可能となった発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができない。

記 (引用文献等については引用文献等一覧参照)

【請求項1-15】

引用文献1-2

備考

映像信号を受信する第1の受信部と、
外部機器からの映像信号及び当該映像信号に関する情報を受信する第2の受信部と、

前記第2の受信部に映像信号に関する情報が入力されると当該映像信号に関する情報に基づいて前記第1の受信部で受信する映像信号の記録を開始する記録部と、

前記第2の受信部で受信する映像信号及び前記記録部に記録された映像信号を出力する出力部とを有し、

前記第2の受信部における前記外部機器からの映像信号の受信が停止すると、前記出力部は前記第2の受信部で受信した映像信号の出力から前記記録部に記録された映像信号の出力に切り替える受信装置。

は当業者が容易に想到しうる事項である。

引用文献1【0024】-【0059】には、外部入力終了後に記録情報を再生する点が記載されている。

引用文献2【0124】-【0163】には、バッファB0の再生が終了するとバッファB1に切り替える点が記載されている。引用文献1における外部入力をバッファB0に自機の記録情報をバッファB1の記録情報に置き換えることは当業者にとって設計的事項にすぎない。

よって、上記構成は引用文献1-2から、当業者が容易に想到しうる事項である

引用文献等一覽

- ・調査した分野
- | 先行技術文献調査結果の記録 | |
|---------------|---------------|
| IPC | H04N5/76-5/95 |
| | H04N9/79-9/89 |

この先行技術文献調査結果の記録は、拒絶理由を構成するものではない。

特許審査第四部 映像機器 審査官 竹中 辰利
TEL. 03 (3581) 1101 内線3539
FAX. 03 (3501) 0715